



道總研

平成 24 年 度  
畜産試験場年報

北海道立総合研究機構  
農業研究本部 畜産試験場

## 畜産試験場年報

## 目次

**I 概況**

1. 沿革	1
2. 位置及び土壌	2
3. 土地(有形固定資産)	2
4. 建物(有形固定資産)	2
5. けい養家畜	2
6. 職員数	2
7. 機構	3
8. 職員の配置	4
9. 収入・支出決算額	7
10. 施設及び備品	8

**II 作況**

1. 気象概況	9
2. 牧草	12
3. とうもろこし	12

**III 試験研究及び地域支援等活動の成果概要****【家畜研究部】**

1. 肉牛に関する試験	14
2. 豚に関する試験	14
3. 鶏に関する試験	15
4. 技術体系化に関する試験	15

**【基盤研究部】**

1. 家畜衛生に関する試験	15
2. バイオテクノロジーに関する試験	16
3. 草地・飼料作物に関する試験	16
4. 畜産環境に関する試験	17

**【技術普及室】**

1. 地域農業技術支援会議	17
2. 技術体系化チーム	17
3. 普及センター等への技術支援	17

**IV 試験研究及び地域支援等活動の課題名****【家畜研究部】**

1. 肉牛に関する試験	18
2. 豚に関する試験	19
3. 鶏に関する試験	19
4. 技術体系化に関する試験	20

**【基盤研究部】**

1. 家畜衛生に関する試験	20
2. バイオテクノロジーに関する試験	21
3. 草地・飼料作物に関する試験	22
4. 畜産環境に関する試験	22

## V 管理業務の概要

1. 肉牛	24
2. 乳牛	25
3. 馬	25
4. 豚	25
5. 鶏	26
6. めん羊	27
7. 家畜衛生	28
8. 粗飼料生産	30

## VI 普及・参考事項並びに試験研究の成果

1. 平成24年普及奨励事項、普及推進事項、指導参考事項、研究参考事項並びに 行政参考事項	31
2. 論文並びに資料	
1) 研究論文	32
2) 口頭発表(ポスター発表を含む)	33
3) 専門雑誌記事	34
4) 著編書資料	34
5) 新聞等記事	34

## VII 研修及び技術指導

1. 研修生受入	35
2. 研修会・講習会	35
3. 改良普及員研修	35
4. 技術指導	36
5. 技術相談	40
6. 会議	43
7. 参観者等	46
8. 職員研修	46
9. 海外出張	46

## VIII その他

1. 委員会	47
2. 図書・資料	47
3. 刊行物	48
4. 表彰・受賞・学位	48
5. 行事	48

## IX 自己点検への対応表

付 用地平面図  
建物配置図

# I 概況

## 1. 沿革

元号	内 容
明治 9	開拓使真駒内牧牛場として札幌市真駒内に設置 畜牛、豚をもって種畜業務を開始
19	真駒内種畜場と改称し、馬、めん羊を追加
26	北海道庁種畜場と改称、改良増殖が事業主体
39	農商務省種牛牧場用地として設置(滝川畜試)
大正 7	農商務省直轄の滝川種羊場として発足(滝川畜試)
昭和 7	北海道庁に移管 北海道庁種羊場と名称変更(滝川畜試)
11	北海道農事試験場に畜産関係試験研究部門を付設
17	北海道農業試験場畜産部と改称
21	用地を米軍に接収されたため道内8カ所に緊急分散
22	移動先が現在地に決定し、施設の新設、人員・家畜の結集 開始
25	北海道農業試験場畜産部が札幌市羊ヶ丘に新設 当場は北海道立種畜場として発足
	山羊部門を追加 (滝川畜試)
31	種鶏部門を追加 (滝川畜試)
33	北海道立新得種畜場と改称 種豚部門を加え北海道立滝川種畜場として発足 (滝川畜試)
37	北海道立新得畜産試験場と改称し、大家畜の試験研究機 関として発足
	乳牛の後代検定事業開始
	ヘレフォード12頭輸入し肉牛増殖事業開始
	北海道立滝川畜産試験場と改称し、中小家畜の試験研究 機関として発足 (滝川畜試)
	鶏部門を北海道立滝川畜産試験場に移管
38	種豚部門を北海道立滝川畜産試験場に移管 種豚部門を全面的に受入 (滝川畜試)
41	総合研究庁舎、フリーストール牛舎建設 整備3カ年計画 完了
	創立90周年、移転20周年記念事業を実施
44	札幌における標準技術体系実証試験(中核試験)開始
47	「牧草系統適応性検定」「放牧特性検定」開始
48	重種馬のけい養を廃止し、馬産事業は北海道和種馬の品 種保存のみ実施
49	肉用牛の大規模繁殖経営における集団飼養技術に関す る試験(実用化技術組立試験)開始
51	創立100周年記念事業を実施し、記念碑を建立
55	放牧肉用牛生産促進事業によりヘレフォード、アバディ ーンアンガス各11頭を輸入し、種雄牛舎を新設
56	整備計画(10カ年)が開始され自家水道が完成 肉牛直接検定牛舎を新設

元号	内 容
昭和57	受精卵移植技術利用促進事業をセンター場として開始 試験肉牛舎、間接検定牛舎など整備
	肉牛大型サイロ、肉牛科職員事務所の新設
58	受精卵凍結器、微量ミネラル分析装置など整備 混牧林利用技術確立事業を開始
	肉牛成雌牛牛舎完成
59	自走式フォーレージハーベスターを導入 農畜試験経営部門の整備により研究部経営科を廃止 独身寮を建設(更新)
	畜産バイオテクノロジー研究室を新設
60	整備計画により根釧農試へ乳牛59頭移管 総合試験牛舎新設
61	種畜部を廃止し、総務部、研究部の2部体制
62	飼料管理科を管理科と改称し総務部所管 飼養科と乳牛科を廃止し酪農科を新設 畜産生物工学科を新設し、バイオテクノロジー試験を担 当
	管理科事務所を新設
	乳牛育成牛舎を改築
63	酪農科事務所を新設 肉牛繁殖試験牛舎を新設
平成元	「北海道立農業試験場研究基本計画」を策定
3	直接検定牛舎を新設 牛体外受精卵流通体制整備事業などで鹿児島県、島根県 等から黒毛和種成雌及び育成牛22頭導入
4	受精卵移植技術を活用した北海道優良黒毛和牛育成改 良事業を開始 黒毛和牛雌牛、育成牛12頭導入 肉牛科を肉牛育種科と肉牛飼養科の2科に改組 畜産生物工学科と草地飼料作物科を生物工学科と草地 科に改称
	総合堆肥舎の新設 肉牛体測施設更新
	研究部を家畜部と生産技術部の2部に改組
6	環境資源科を新設 草地試験棟を新設 核移植技術によりクローン牛を生産 地域基幹農業研究、家畜糞尿処理技術開発事業試験を開 始
	黒毛和種改良情報システム事業を開始
	衛生試験畜舎を新設
7	黒毛和種のDNA育種基盤整備事業等の試験を開始 本州より黒毛和種優良若雌牛21頭を導入

元号	内 容
平成 8	「畜産研究再編整備構想」を策定 大分・宮崎県より黒毛和種種牛29頭導入
9	「畜産研究再編整備構想」による基本設計終了 牧草の栄養価及び収量の向上による飼料自給率向上促進事業を開始
10	「畜産研究再編整備構想」による実施設計を実施 豚及び鶏の附属施設完成
11	総合庁舎、和種馬保存厩舎、繁殖羊舎、格納庫等の施設完成
12	道立試験場の組織改正により滝川畜産試験場と新得畜産試験場を統合、道立畜産試験場として発足 道立畜産試験場滝川試験地を設置 畜産技術交流施設、畜産環境総合試験棟、総合肥料庫、黒毛肥育試験牛舎など附属施設が完成
13	「畜産研究再編整備」最終年度 外構工事、放牧地給水施設工事を実施し整備終了
14	牛海綿状脳症に関する研究を行うためのBSE隔離牛舎及びバイオハザード対策レベル3施設を整備
15	家畜伝染病の侵入を防ぐため、車両の消毒ゲートを設置 牛海綿状脳症に関する研究を推進するため感染実験室を設置
18	粗飼料生産の外部委託を試験的に開始 家畜生産部、畜産工学部、育種科、養豚科、特用家畜科及び代謝生理科を家畜研究部、基盤研究部、肉牛育種科、中小家畜育種科、中小家畜飼養科及び病態生理科に改称
19	粗飼料生産等の外部委託を本格的に開始 放牧地堆肥盤を設置
20	平成20年度組織機構改正に伴い技能労務業務の廃止 「地方独立行政法人北海道立総合研究機構(仮称)」の定款及び継承される権利に関する議決
21	平成22年3月31日をもって滝川試験地廃止
22	地方独立行政法人北海道立総合研究機構が創設され、独立法にに伴い研究部を3部から2部制に再編し、科体制からグループ体制へと移行した
23	構内LAN設備を設置

## 2. 位置及び土壌

当場は、上川郡新得町字新得(北緯43度3分、東経142度48分)に所在し、日高山脈の東斜面、標高220～450mに位置する。

土壌は、花崗岩を母材として頁岩を混ざる崩積土を主体とし、表層は厚さ約13cmの十勝岳火山灰に被覆される。表土は黒色を呈するが有効腐植に乏しく、諸所に石礫を混じ、排水やや不良で酸度高く、地力は全般に中の下ないし下に位置する。

## 3. 土地(有形固定資産)

(平成24年4月1日現在)

単位: ha

区 分	数量	延べ面積
総面積		1,573.32
採草地		393.00
放牧地		380.03
飼料畑(試験圃場含む)		12.34
山林・原野		758.45
建造物敷地		27.82
その他		1.68

## 4. 建物(有形固定資産)

(平成24年4月1日現在)

単位: 棟、m<sup>2</sup>

区 分	数量	延べ面積
建物	78	37,291.12

## 5. けい養家畜

(平成25年3月31日現在)

単位: 頭、羽

畜種	雄	雌	計	
肉用牛	黒毛和種	115	366	481
	アバディーンアンガス	18	111	129
	ヘレフォード	0	4	4
	交雑種	0	11	11
乳用牛	ホルスタイン	6	66	72
	馬	3	16	19
羊	サフォーク	101	176	277
鶏	ロードアイランドレッド	84	406	490
	素材鶏	305	718	1,023
	試験鶏	0	267	267
豚	大ヨークシャー	53	142	195
	雑種	100	124	224
	デュロック種(借受)	2	0	2

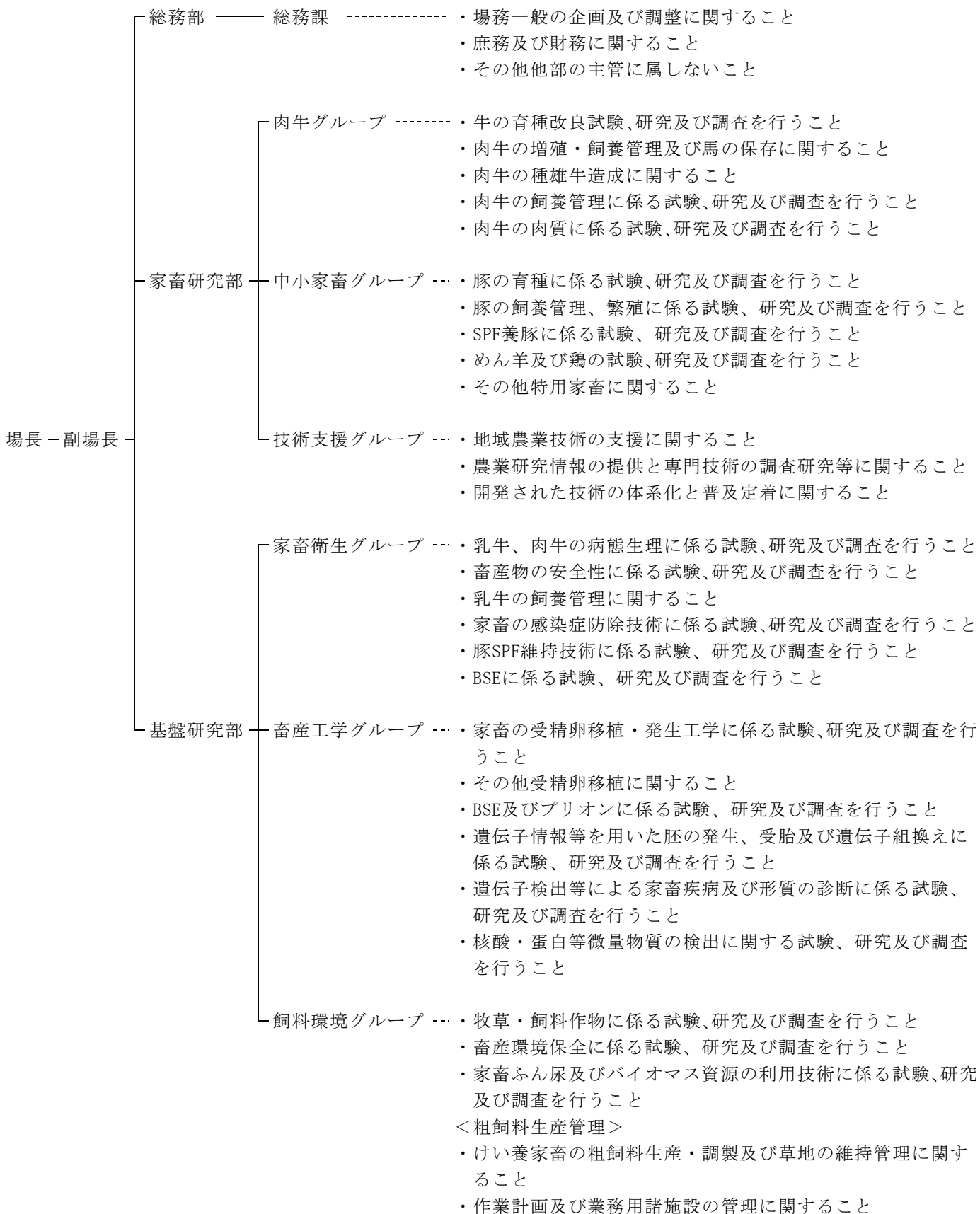
## 6. 職員数

(平成24年4月1日現在)

区 分	研究職員	研究支援職員	総務職員	計
一般職員	40	48	14	102
うち道派遣			(13)	(13)
うち再雇用	(3)	(8)	(1)	(12)
契約職員		16		16
計	40	64	14	118

## 7. 機 構

地方独立行政法人北海道立総合研究機構組織規程(平成22年4月1日規程第4号)が制定され、内部組織及びグループを設置しその分掌事務を定める。



## 8. 職員の配置

### 1) 職氏名 (平成24年4月1日現在)

職名	氏名
場長	山本 裕介
* 副場長	斎藤 雄一
* 総務部長兼総務課長	大西 秀一
* 主査(総務)	森田 哲也
* 主査(調整)	小林 英範
* 主査(調整)	大地 春野
* 主査(管財)	伊藤正登志
* 主任	佐藤 隆行
* 技師	鈴木 貴子
運転技術員(再雇用)	清水 道明
* 主任	石川 豊寿
* //	石山 友広
* //	入場 広司
* //	山田 芳弘
* //	泉谷 仁
家畜研究部長	南橋 昭
【肉牛グループ】	
研究主幹	宝寄山裕直
主査(育種)	酒井 稔史
主査(飼養)	糟谷 広高
研究主任	大井 幹記
//	森井 泰子
研究職員	齋藤 早春
//	鹿島 聖志
//	遠藤 哲代
指導主任	長内 正美
//	北野 則泰
//	野上 裕之
主任	吉田 一昭
//	千葉 昇
//	鈴木 裕二
//	松久 勸
//	中野 隆
//	櫻井 直樹
//	青木 隆司
//	西村 哲夫
//	深川 厚司
//	箕浦 孝一
//	若杉 吉規
//	伊原 崇人
// (再雇用)	後藤日出男

職名	氏名
【中小家畜グループ】	
研究主幹	小泉 徹
主査(養豚)	岩上弦太郎
主査(家さん)	山内 和律
研究職員	甲田 洋子
//	中村 直樹
// (再雇用)	西村 和行
// (再雇用)	出岡謙太郎
指導主任	佐崎 辰信
//	佐々木博康
//	中川 正人
主任	久野 浩文
//	石川 要
// (再雇用)	岡部 昭裕
指導主任	菊池 裕幸
//	月井 克実
主任(再雇用)	匂坂 正雄
// (再雇用)	柴田 哲雄
主任	篠原 靖彦
//	河端 広茂
// (再雇用)	佐藤 英一
【技術支援グループ】	
研究主幹	藤川 朗
主査(技術支援)	佐藤 幸信
主査(技術支援)	佐藤 尚親
主査(技術支援)	國重 享子
基盤研究部長	仙名 和浩
【家畜衛生グループ】	
研究主幹	平井 綱雄
主査(家畜衛生)	及川 学
研究主査	小原 潤子
研究主任	伊藤めぐみ
//	櫻井 由絵
//	藤井 啓
指導主任	小川 進
主任	鈴木 剛
//	吉川 栄一
//	喜多見 剛
//	川本 康内
//	高橋 直哉
//	長田 慎弥
//	森田 勝
//	板宮 敦志
// (再雇用)	芦野 正城
// (再雇用)	佐々木喜彦

職 名	氏 名
<b>【畜産工学グループ】</b>	
研究主幹	陰山 聡一
主査(畜産工学)	平山 博樹
研究主任	内藤 学
〃	福田 茂夫
研究職員	藤井 貴志
主 任	堀川 盟夫
〃	水尻 健二
〃	不破 友宏
〃	玉田 学
<b>【飼料環境グループ】</b>	
研究主幹	寺見 裕
主査(草地飼料)	出口健三郎
主査(畜産環境)	湊 啓子
研究主査	戸苺 哲郎
研究主任	渡部 敢
研究職員	飯田 憲司
〃 (再雇用)	山川 政明
主 任	齋藤 孝志
〃	芦野 俊明
〃	谷尻 治秀
〃 (再雇用)	高橋 春男

注) 道総研職員数：102名

研究職員	40	(うち再雇用3)
研究支援職員	48	(うち再雇用8)
総務系職員	14	(うち道派遣13+再雇用1)
* 道派遣職員		

**【畜産試験場技術普及室】(道技術普及課在籍)**

上席普及指導員	三浦 康雄
主任普及指導員	西村 孝雄



## 2) 職員の異動

### (1) 転入及び採用

役職名	氏名	異動年月日	備考
場長	山本裕介	平成24年4月1日	上川農業試験場天北支場から転入
*副場長	斎藤雄一	平成24年4月1日	農政部農業施設管理課から転入
研究主幹	宝寄山裕直	平成24年4月1日	根釧農業試験場から転入
研究主幹	平井綱雄	平成24年4月1日	根釧農業試験場から転入
主査(飼養)	糟谷広高	平成24年4月1日	根釧農業試験場から転入
研究主査	戸苅哲郎	平成24年4月1日	根釧農業試験場から転入
主任	松久勸	平成24年4月1日	根釧農業試験場から転入
*主査(総務)	森田哲也	平成24年4月1日	農政部農地調整課から転入
*主任	山田芳弘	平成24年4月1日	十勝総合振興局東部耕地出張所から転入
*主任	石山友広	平成24年4月1日	釧路総合振興局農務課から転入

注) \*総合政策部科学IT振興局研究法人室から派遣

\*\*農政部技術普及課在籍

### (2) 転出及び退職

職名	氏名	異動年月日	備考
家畜研究部長	草刈直仁	平成24年4月1日	根釧農業試験場へ転出
基盤研究部長	吉澤晃	平成24年4月1日	上川農業試験場天北支場へ転出
主査(飼養)	杉本昌仁	平成24年4月1日	農業研究本部へ転出
研究主幹	高橋雅信	平成24年4月1日	上川農業試験場天北支場へ転出
主任	高橋光司	平成24年4月1日	中央農業試験場へ転出
総務課長	井上千秋	平成24年4月1日	後志総合振興局農務課へ転出
副主幹兼主査(総務)	岡田清孝	平成24年4月1日	釧路総合振興局農務課へ転出
主任	島秀行	平成24年4月1日	日高振興局社会福祉課へ転出
技師	横道直人	平成24年4月1日	根室振興局農務課へ転出
総務部長兼総務課長	大西秀一	平成25年3月31日	退職
指導主任	北野則泰	平成25年3月31日	退職
指導主任	野上裕之	平成25年3月31日	退職
指導主任	佐崎辰信	平成25年3月31日	退職(再雇用)

注) 場内異動分は掲載しない。

## 9. 収入・支出決算額

### 1) 収入決算額

(単位：円)

科 目	当初予算額	最終予算額	決算額	増 減
動物売払収入	3,686,000	3,686,000	21,333,680	17,647,680
畜産物売払収入	16,906,000	16,906,000	26,584,291	9,678,291
不用品売払収入	20,000	20,000	0	▲ 20,000
法人財産使用料等	993,000	993,000	434,805	▲ 558,195
その他雑収入	1,201,000	1,641,000	1,468,798	▲ 172,202
共同研究費負担金	7,300,000	9,530,000	9,530,000	0
国庫受託研究収入	16,408,000	17,383,000	17,383,000	0
道受託研究収入	1,089,000	1,089,000	745,920	▲ 343,080
その他受託研究収入	4,959,000	10,707,000	10,704,686	▲ 2,314
施設整備費補助金収入	0	7,707,000	7,707,000	0
科学研究費補助金	0	2,630,000	4,800,000	2,170,000
計	52,562,000	72,292,000	100,692,180	28,400,180

※研究費等の収入財源には、事業費支弁人件費振替額を含む(=委託元の払込額)。

※平成25年3月分出荷の「生乳及び鶏卵は収入手続きが平成25年4月以降のため新年度収入」となる

### 2) 支出決算額

(単位：円)

科 目	当初予算額	最終予算額	決算額	繰越額	残 額
戦略研究費	0	1,448,000	1,448,000	0	0
重点研究費	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	0
職員研究奨励費	0	1,200,000	1,200,000	0	0
経常研究費	24,375,000	24,136,000	23,970,756	0	165,244
技術普及指導費	206,000	289,000	277,269	0	11,731
研究用備品整備費	0	14,072,100	14,072,100	0	0
目的積立金活用事業費	0	0	0	0	0
維持管理経費	196,972,000	208,685,713	207,347,729	0	1,337,984
研究関連維持管理経費	0	1,370,000	837,521	0	532,479
運営経費	125,058,000	126,654,390	120,728,581	0	5,925,809
共同研究費	7,300,000	9,530,000	9,530,000	0	0
国庫受託研究費	16,116,000	17,034,000	17,033,094	0	906
道受託研究費	1,089,000	1,089,000	745,920	0	343,080
その他受託研究費	4,514,000	9,804,000	9,795,831	0	8,169
施設整備費補助金	0	7,707,000	7,707,000	0	0
科学研究費補助金	3,962,479	3,962,479	3,962,479	0	0
計	381,592,479	428,981,682	420,656,280	0	8,325,402

※支出決算額には事業費支弁人件費振替額(本部対応)を除く(=試験場セグメント決算額)。

## 10. 施設及び備品

### 1) 新たに設置及び改修した施設等

- ・総合試験牛舎内塗装工事

### 2) 新たに購入した備品

(50万円以上)

品 名	規 格	数 量
可搬型発電機	AG25SH	1 台
電気泳動像解析装置	170-8195JIPC	1 台
自動分析装置	AU480	1 台